

## 藤原忠彦・全国町村会長就任挨拶（平成 27 年 7 月 2 日）

ただ今、皆様のご推挙により、全国町村会長に再任させていただくこととなりました。心から感謝申し上げる次第でございます。

今日まで、皆様のお力添えにより、微力ながら全国町村会長の職責を全うして参りましたが、皆様の多大なご理解とご支援に対し、衷心より御礼を申し上げます。

今後の 2 年間、全国町村会長という大任を引き受けさせて頂くことになり、その責任の重さを感じているところでございますが、引き続きご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

全国町村会としては、解決すべき多くの課題がございます。まず、東日本大震災からの復興です。

震災から 4 年余りの歳月が経過しましたが、地域の復興・再生は未だ道半ばです。全国町村会としても、東日本大震災からの復興を最重要課題と位置づけており、復興事業が円滑かつ確実に実現できるよう、今後とも政府に対し要請してまいります。

また、町村にとりまして、人口減少の克服と地域経済の活性化は喫緊の課題であり、「地方創生」に向けた取り組みは、我々町村にとって試金石ともなる重要な施策になります。真に実効性のある地方創生を推進できるよう、政府と一丸となり、取り組んでまいりたいと存じます。

その際、重要になるのが財政基盤の強化であり、安定的な自主財源を確保する必要があります。財源の乏しい町村にとって、生命線ともいべき地方交付税の総額確保を引き続き訴えていく所存であります。

これ以外にも多くの課題がございますが、これらの課題解決に向け、全員参加による町村会運営を心がけ、それぞれの町村が活発に議論し、相談しあえる、透明性の高い組織づくりに努めてまいります。更に、多くの町村長の皆様と対話を重ね、互いに切磋琢磨し、より強い町村会を目指したいと存じますので、再度、皆様の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。就任のごあいさつと致します。